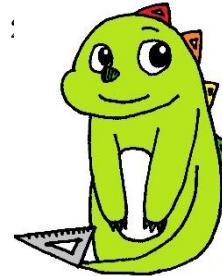




いよいよ前期後半のはじまりです! ～新型コロナウイルス感染症に引き続き警戒を～

長いようで短かった夏休みも終わり、様々な行事等が目白押しの前期後半がはじまりました。まず、この夏休み中、事故等の報告は1件もなく、全員が安全に過ごすことができました！こんなにうれしいことはありません！保護者の皆様に心よりお礼を申し上げます。しかしながら、心配なのは、全国的な新型コロナウイルス感染症の拡大です。27日が臨時休業となったことをはじめ、県内では9月1:日まで、国による「まん延防止等重点措置」の適用が延長となりました。感染状況については予測が困難であり、今後大きな行事等が控えているため、大変心配をしています。臨機応変な対応を迫られることが多々出てくると考えられます。保護者の皆様には引き続きご理解、ご協力のほどよろしくお願いします。



前途洋々

前期後半を迎えるにあたって ～ 全校集会で子供たちに話したこと ～

前期の後半が始まるにあたって、ライブ配信で全校集会を行いました。そこで、私から、子供たちに頑張ってほしいこととして、「自分の考えや意見をしっかり考えて相手に伝えよう」ということを話しました。これは、授業の中、授業の外どちらの場合も指します。要旨は次のとおりです。

- 自分の考えを伝えることが得意な人も苦手な人もいると思いますが、まずは、間違いを恐れずにやってみよう。
- そのために、「安心して自分の考えや意見が言えるクラス」を一人一人が協力して作ろう。周りの人が、それを冷やかしたり、笑ったり、からかったりしたら、安心して表現すること、伝えることはできません。
- 次に、どうすればもっとうまく伝えられるかを考えてみよう。筋道を立てて考えたり、別の言葉で言い換えたりするなど。先生からアドバイスももらいましょう。
- 友だち同士で伝え合うときは「ふわふわ言葉」「チクチク言葉」も考えないといけません。また、「ふわふわ態度」「チクチク態度」もあると思います。意味もなく相手から避けられたり、にやにやと馬鹿にしたような反応をされたりすると誰だって嫌ですよね。声の調子も同じ「態度」に入ります。同じことを聞くのであっても、「それ何？」（やさしい感じ）「何それ！？？」（きびしい感じ）で聞くのではずいぶん印象が変わりますよね。
- 私たちは、自分では気づかない「言葉のくせ」があります。人から話しかけられたとき、また自分から人に話しかけるとき、あまり深く考えずに、次のような言葉を口にしていませんか。
「は？」「何それ？」「見らんで！」「こっち来んで！」「知らん！」
「何で○○すると？」
- 逆に、「いいね！」「すごいね！」「○○する？」「やったね！」「いっしょにしようか？」「大丈夫？どうしたと？」「代わりに○○しようか？」という言葉はどうでしょうか。あたたかい気持ちになりませんか？
いろいろと話をしましたが、すべて、「自分を大切にすること」「相手を大切にすること」につながっています。授業の中で、また、普段の生活の中で、子供たちが自分の言葉で自分の思いを出していけるような環境づくりを大切にしたいと思います。

